

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	空		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 15日		～ 令和7年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 15日		～ 令和7年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名(1名産休中)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応している。	送迎時や保護者をお招きした活動時において、その都度ヒアリング等を行ったり、茶話会での情報共有に適宜対応出来るよう体制を整え、ご周知頂いております。	お子様の状況に応じて、臨機応変な対応を行い、保護者様のレスパイトケアとして事業所訪問等も薦めております。
2	職員の配置数は適切である。	お子様の状況を踏まえ、マンツーマン対応等も考慮し規定人員数以上の職員配置を組んで支援に努めさせて頂いております。	常勤6名(1名産休中)非常勤4名体制で一人ひとりに寄り添った支援が行えるよう利用希望人数や年齢に応じたシフト組みを行います。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信している。	空通信→毎月5日：翌月の活動予定などを告知 HP→随時更新：活動内容をブログにUPし、利用者様専用のフォトギャラリーを設定してお子様の活動の様子等を発信し、保護者様が空でのお子様の写真を保存出来るようにしております。	保護者様の評価にもしっかりと向き合い、活動内容なども分かりやすく開示、発信していけるように連絡ツールなどを考えて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設定することが難しい。	日程を決めアポイントを取り交流を持つ事へのためらいがあるご家庭もある為、積極的に計画は行っておりませんが、公共の場での活動等は行っており、同世代のお子様と同じスペースで関わりを持てるよう配慮しております。	今後も公共の場での活動を継続し、図書館などのルール設定がある場などで地域の方々と共にルールが守れるよう取り組みを行って参ります。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が固定化されていない。	ペアレントトレーニングと題して会場設定等を行う形での開催はしておりませんが、保護者様ご参加の行事等開催しておりますのでその際に改めて研修会や情報提供など行っております。	個別でのペアレントトレーニングと集団でのペアレントトレーニング、それぞれ対応出来るようスキルアップを行い、ご家庭での支援内容にも寄り添えるよう努めます。
3	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると感じられない場合がある。	開所から長く療育支援を行っている利用者が殆どであり、心身共に成長しスペース的にも狭く感じる事がある為、お子様に合わせた過ごしやすい環境の提供出来るよう間仕切りやパーティション等で対応しております。	各部屋の使い方等利用者周知を行い、自身の落ち着く居場所を見つけられるお手伝いも行い、いずれは活動スペース確保を視野に入れ、事業所移転も考えているところであります。